

めまいの原因はさまざま メニエールと診断がつくのは数%

Women's
カルテ

メニエール病は突然回転性のめまいが起こり、発作とともに、難聴が起こるのが特徴です。どんな症状が起こるのか、また検査や治療にはどんなものがあるのか、目黒区にある笠井耳鼻咽喉科クリニック院長の笠井創先生に聞きました。

メニエール病は、耳の脳側にある内耳に余分なリンパ液がたまり、平衡感覚や聴力に異常をきたす病気です。ほとんどが、片方の耳側の異常で起こりますが、まれに両耳側に異常があっても起こることもあります。

寝不足やストレス、過労などで引き起こされることが多く、突然、天井がぐるぐると回るような激しい回転性のめまいが起こり、それとともに吐き気、嘔吐が起こる場合が多く見られます。

発病の最初のころは、耳がふさがった感じや、ブーという耳鳴りが起こります。その後、めまいと難聴の発作を繰り返しますが、発作は、週に数度起こる人から、数年に1度しか起こらない人まで、人によってさまざまです。また、めまいの発作が続く時間は1時

間から6時間程度といわれています。

とはいえ、めまいは多くの人にしばしば起こる症状で、原因はさまざま。めまいの症状があっても、メニエール病と診断されるのは、数%とそれほど多いものではありません。

めまいが起きているときの眼の動きを赤外線CCDカメラや特殊なメガネをかけて眼底検査をしたり、難聴の有無を調べる聴力検査などを行い、それらで、異常があった場合にメニエール病と診断されます。

発作とともに難聴も進行していく 病気。まず耳鼻咽喉科で検査を

メニエール病と診断されたら、めまいを抑える抗めまい薬（場合によっては点滴を行う）や内耳のリンパ液のむくみをとる投薬治療が中心になります。また、ストレスが強い場合は、精神安定剤や、血液の循環をよくする薬が処方される場合もあります。薬をのんでも改善せず、難聴がひどくなる場合は手術療法もあります。

メニエール病は、発作とともに難聴が進行していく病気なので、めまいが起こったら、まず耳鼻咽喉科で詳しい検査をしましょう。



気分が悪い
・
・
・

天井が回る
・
・
・

このテーマの続きは下記ウェブで!

健康情報が満載の「えるこみ保健室」

<http://www.lcomi.ne.jp/a/kenko/>